

第 85 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 23 年 12 月 25 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7 名  
出席委員の氏名 児玉 昭義 中島 和晃 堂園 孝美  
小島 隆雄 大橋 民男  
欠席委員の氏名 木村 敏彦 島田 貴司  
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸
4. 議題
  1. 番組編成に関して
  2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容  
議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。  
委 員 長 児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。  
会社側委員：10 月 1 日からの新番組編成による放送は 100%自主制作番組となっております。週日の主要番組を週末に再放送するシステムも順調に運行しております。  
委 員：平日の主要な番組を土曜／日曜に再放送される編成や自主制作番組の大幅な拡大は順調であり番組の内容も洗練されてきていると思います。  
会社側委員：震災などへの対応として局舎の移転は来春 4 月を目処に計画しておりましたが長谷の消防出張所 3 階に新スタジオの開設が内定いたしました。  
委 員：中継回線もメタルから光に変更されるとの事ですから雷対策としてもより有効であると思う。津波などへの非常時体制も大事である。  
会社側委員：非常時に送信所からの直接放送をも考慮した整備を計画してます。可能性は五分五分かもしれませんが難聴地区への対策として行政による小電力の中継局の設置も検討しておりますが見通しはまだ立っておりません。  
委 員：前回も申し上げましたが懸念される災害への対策は早急に解決すべきです。  
会社側委員：改正された放送法にもとづくコンプライアンス遵守としてもスタジオの移転を契機にハードソフト共に可能な整備は実行中であり来春から初夏にかけて基本の部分は完了する予定です。  
委 員：イザという時に機能する体制を構築して下さい。  
会社側委員：鋭意努力します。  
委 員 長：本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日  
ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し  
以 上